

V 多摩川・玉川上水とくらし

福生市の南端を流れる多摩川は、昔から飲み水や水運など、私達の生活に密接に関わっていました。緑豊かな広い河原は、今も市民の憩いの場所として親しまれています。この多摩川も、福生の街の発展にともなって大きく姿を変えてきました。今はもう見られない渡し舟の行き交いや木造の架橋、かつて盛んに行われた鮎漁や砂利採取の様子が写真から生き生きと伝わってきます。また、市内の玉川上水から取水される分水も、以前は現在よりもずっと生活に密着したものでした。旧熊川村の熊川分水などには製粉や製糸用の水車が幾つも回っていました。



67 多摩川の架橋 熊川（現睦橋付近） 明治34年3月

68 日光橋 熊川 明治36年4月

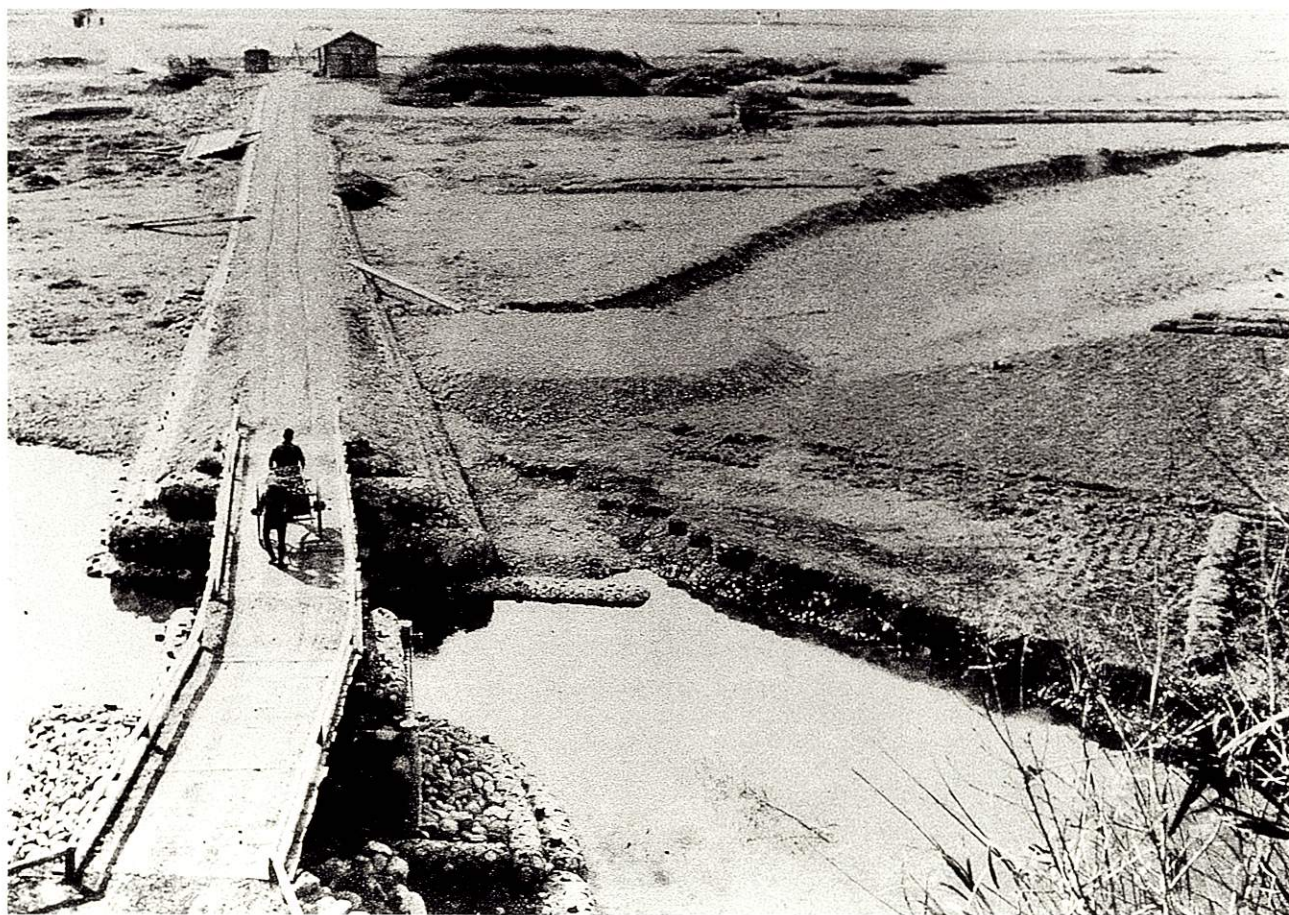




69 多摩川の架橋 熊川 明治36年4月

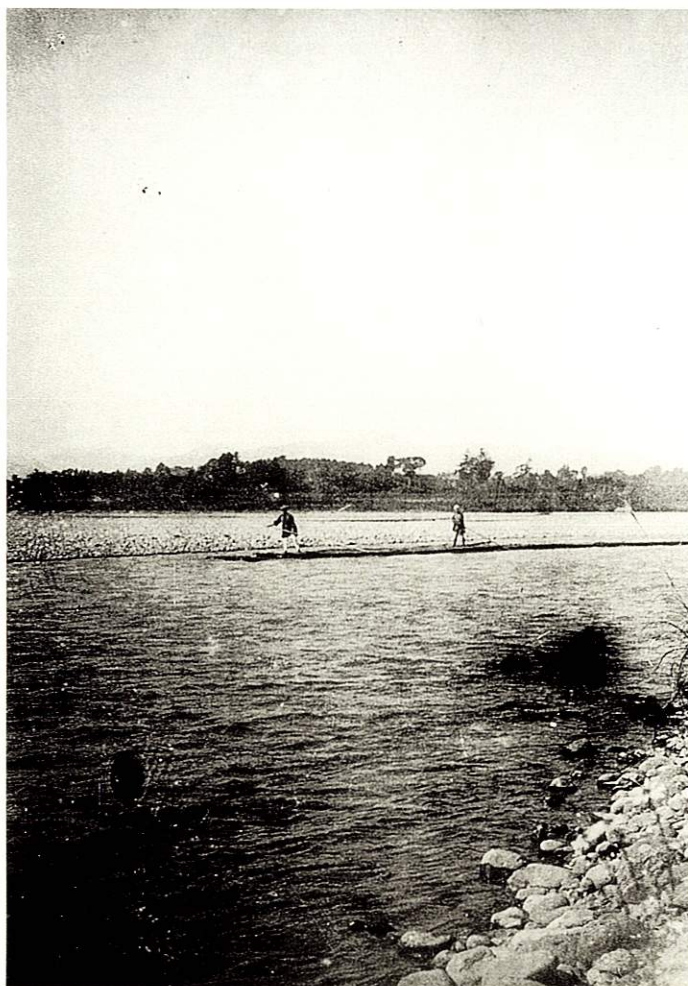
70 多摩川の堤防工事 熊川 明治36年7月

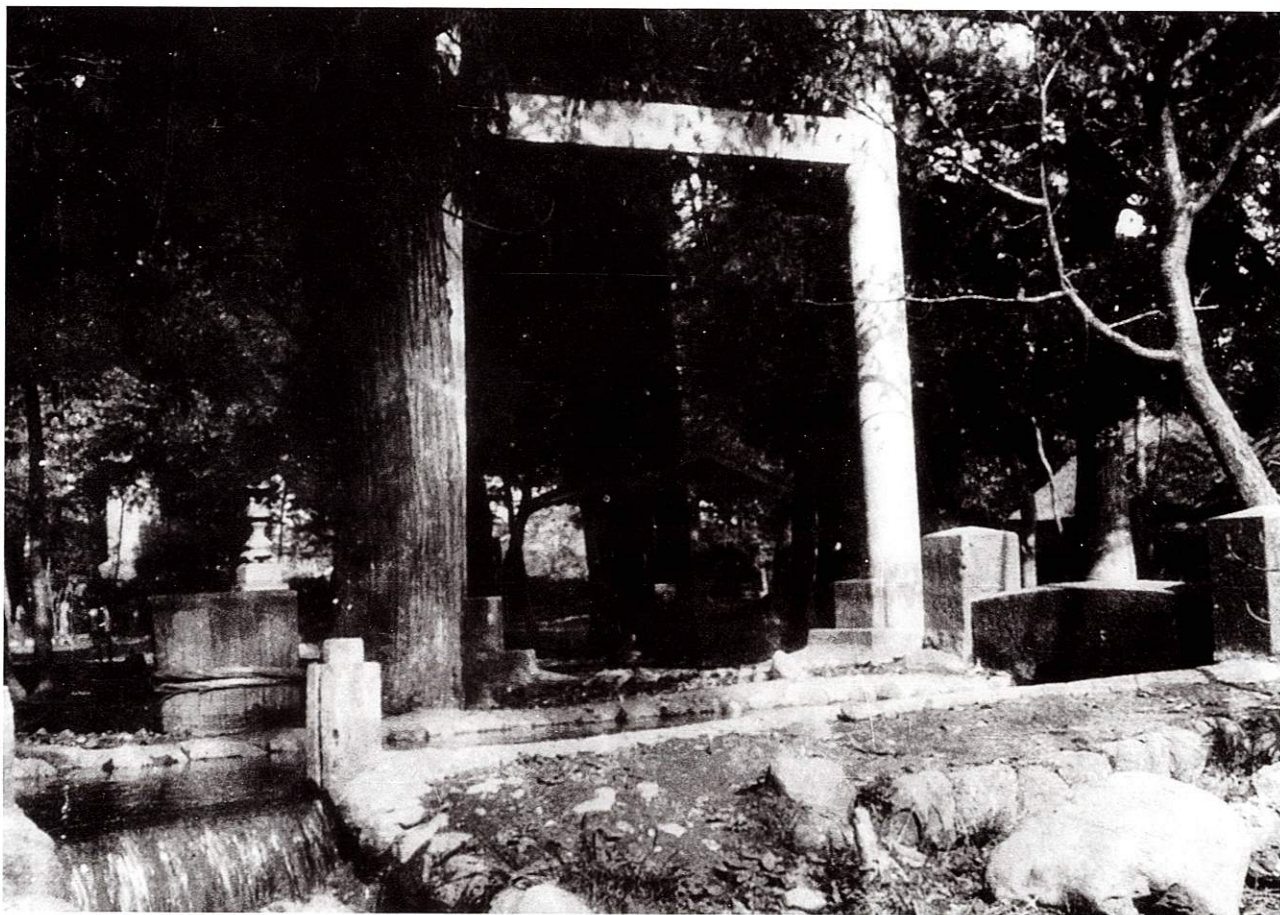




71 多摩川の架橋 熊川下 明治41年3月

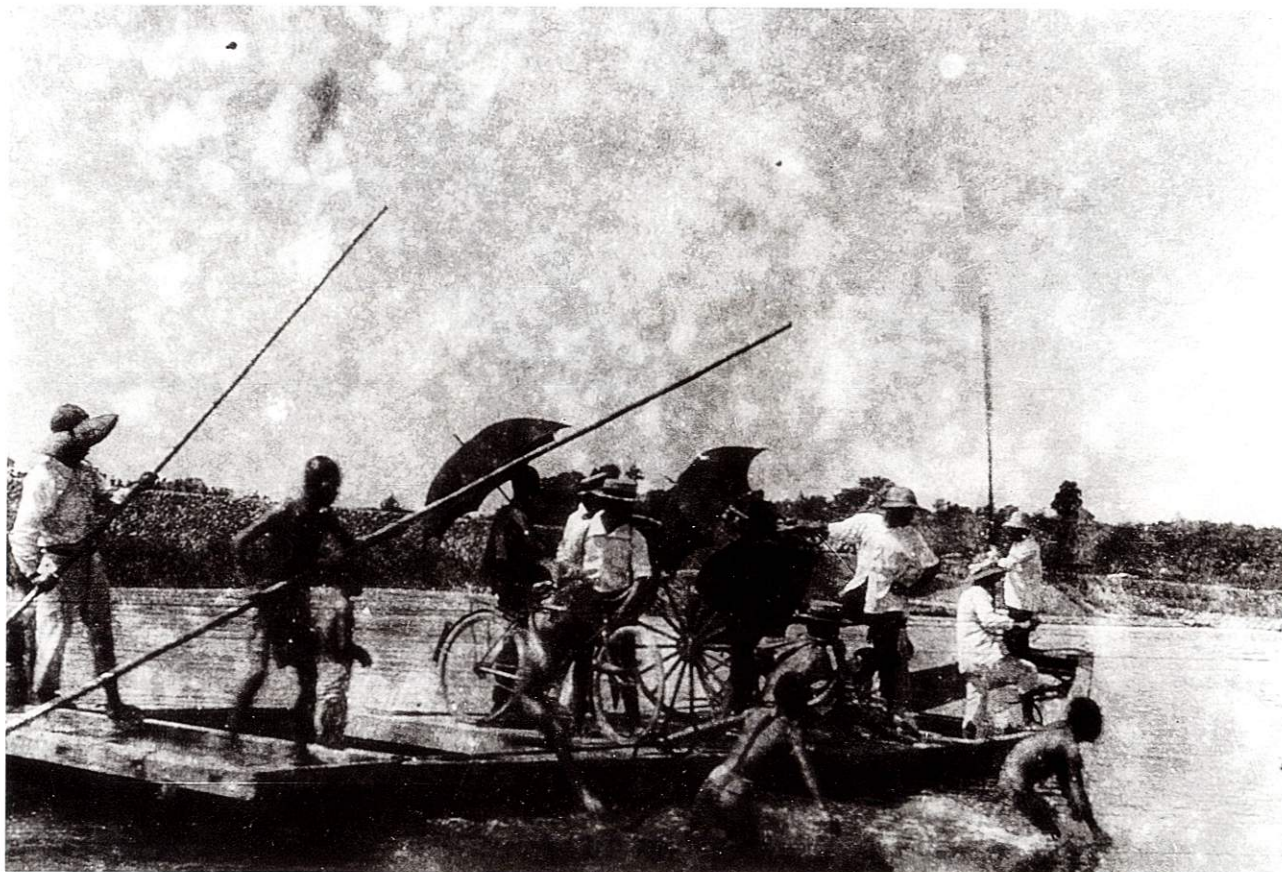
72 多摩川をくだる筏 熊川下 明治末年

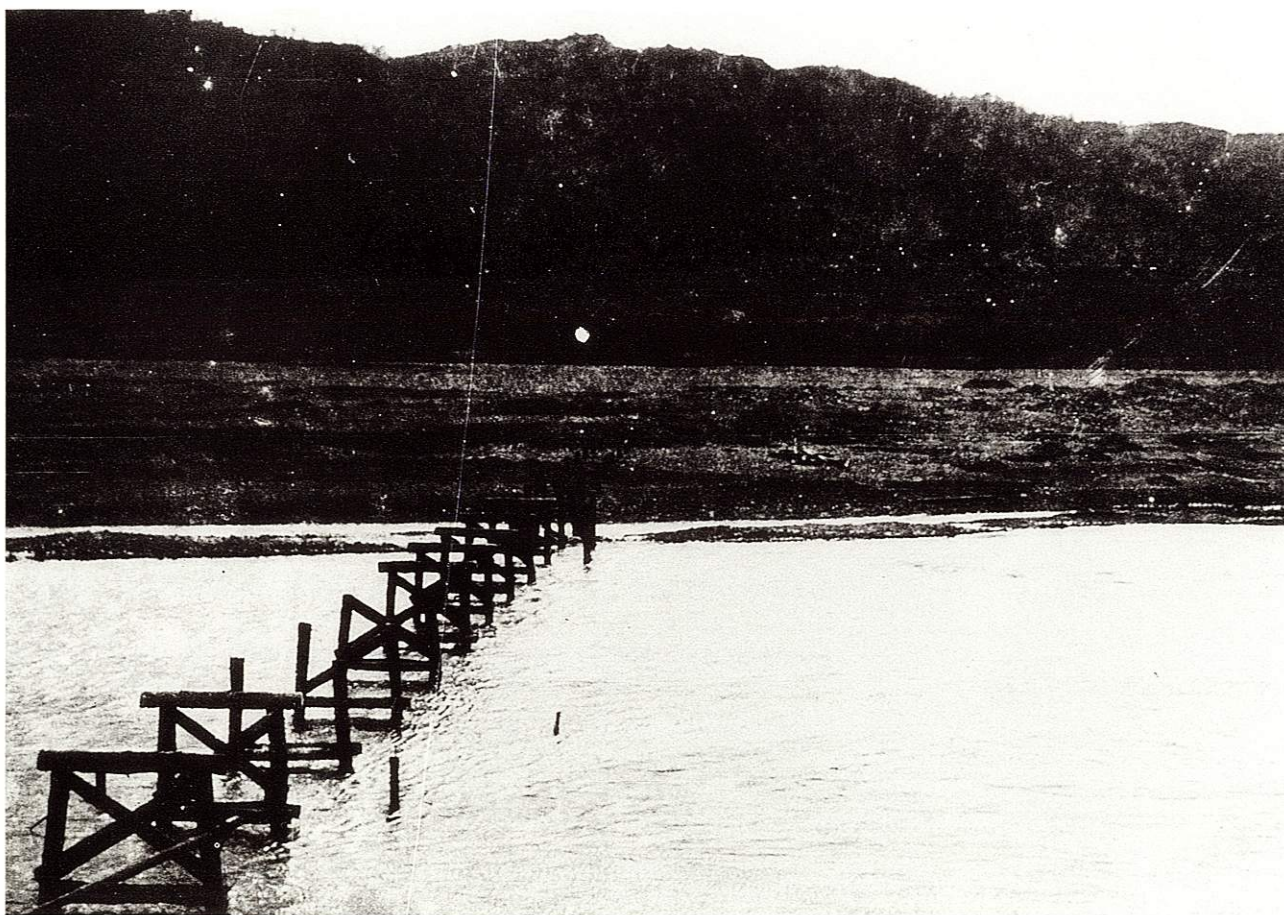




73 熊川神社前の熊川分水 熊川 明治後期～大正初期か

74 牛浜の渡し（二宮下渡船場） 熊川 大正11年8月





75 多摩川の栈橋（増水時には上板をはずす） 熊川（南） 大正 11 年

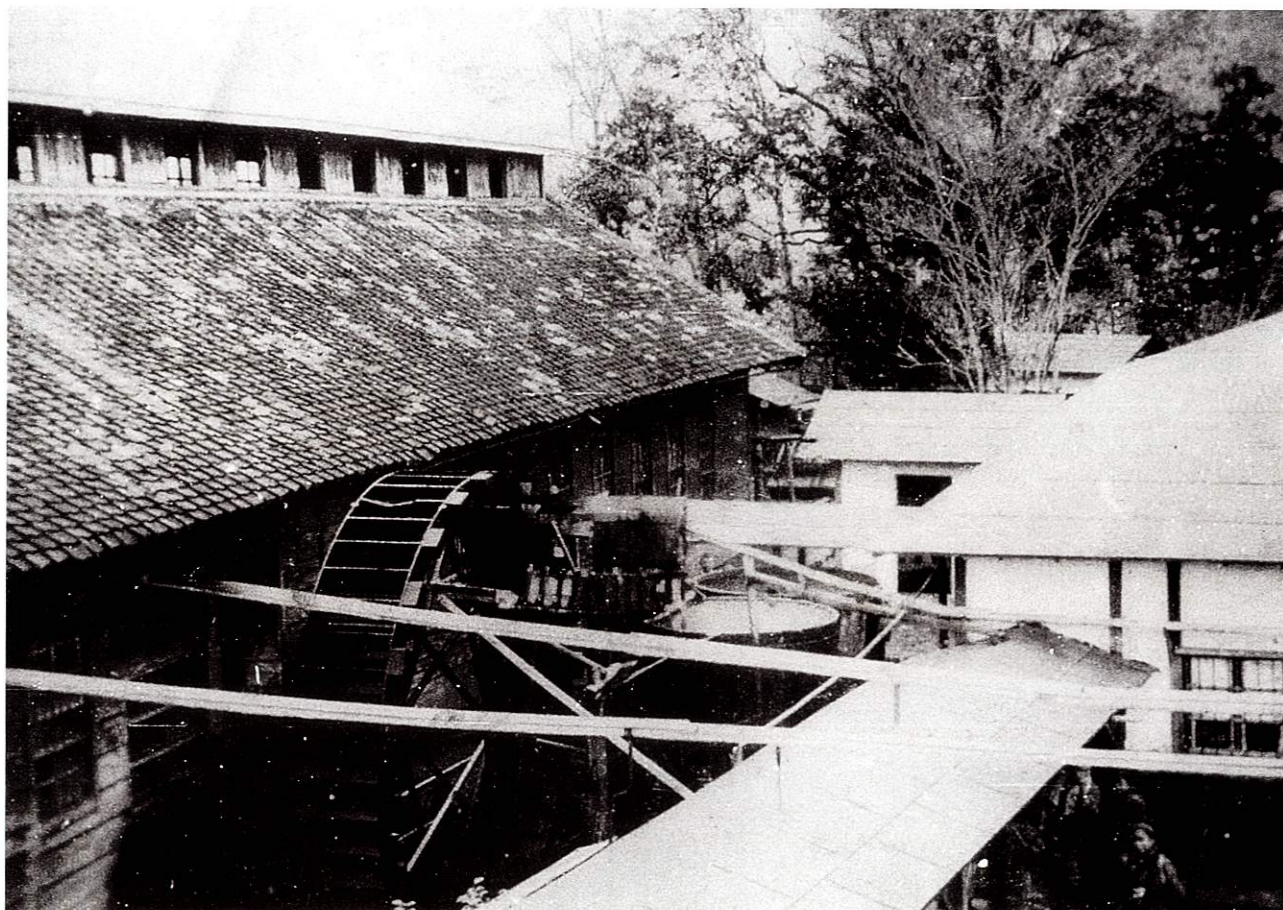
76 昭島方面の多摩川河原風景 多摩川河原 大正 14 年





77 しもぐるま 下車の水車 福生（中福生） 大正7年

78 森田製糸所の水車 熊川（森田製糸所） 大正期





79 じやかこ 蛇籠と舟 多摩川河原

80 熊川の渡し 熊川 昭和4~5年頃

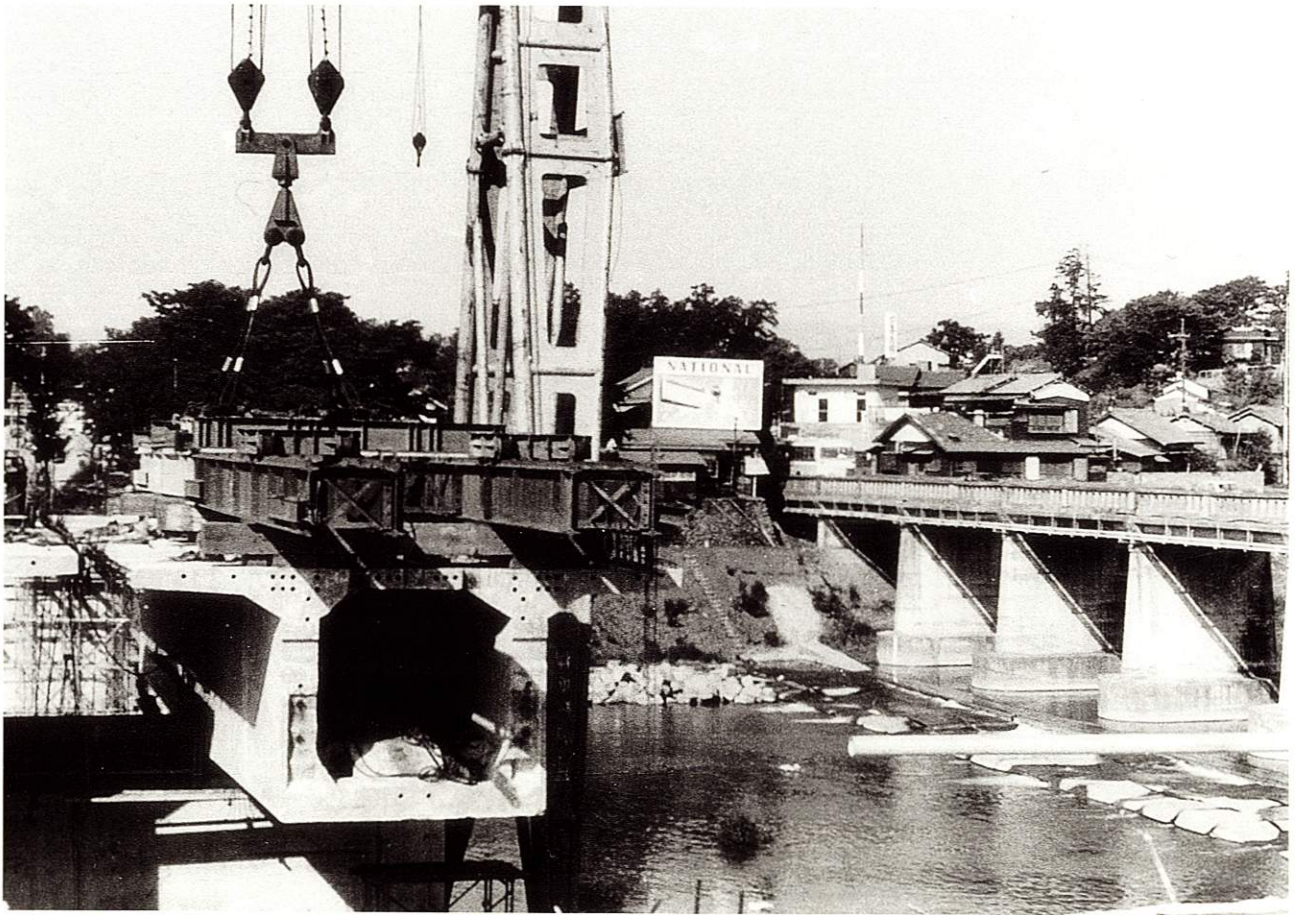




81 永田橋 福生（永田） 昭和初期

82 永田橋 福生（永田） 昭和30年





83 多摩橋架け替え工事 福生 昭和45年

84 増水する多摩川（多摩橋より下流をのぞむ） 多摩橋 昭和40～50年代か

